

2025 年度

学校名 新潟市立臼井小学校

対象学年 3年

① 学習指導案

プログラム	No.4「まちの色・いろいろ」
単元名 (全60時間)	「目指せ！臼井ものしり博士」
学習のねらい	臼井地域のよさやおもしろさに気付き、地域の「いいね」を探る活動を通して、地域の特徴や地域に伝わる行事について発信したり参加したりする態度を育てる。
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域探検から「もっと調べたい」という意識を高め、課題を設定する。 2 調べたい場所、人、行事について、計画を立てる。 3 地域の特徴である「しろね大凧」「狸の婿入り行列」「臼井の野菜」について詳しく調査する。 4 調べたことをまとめ、地域のよさを伝えるカルタを作成する。 5 「臼井のものしり博士」として、2年生、保護者、地域の方に成果を発表する。
参考資料 準備品 実施場所等	野菜の種・設備費用、拡大地域地図、記録用紙、カルタ台紙、マジック 教室、校内、臼井地域（臼井の商店街、農園、学校田等）

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 ～ 10	○地域探検を通して探究の意識を高め、自分なりの課題を設定する。	・「臼井地域には何があるか」と問いかけ、建物、もの、こと、色に注目して探検するように声をかけ、意欲を高める。	・臼井地域のいろいろな「いいね」を意欲的に探している。
11 ～ 16	○追求したい場所や施設、人々、地域行事について、調べる計画を立てる。	・興味をもった場所、こと、ものに対し、調べる計画を立てる。	・「臼井のいいね」を調べるための計画を、自分なりに立てている。
17 ～ 26	○追求したいものに対して、調査を行う。	・興味をもった場所、こと、ものに対し、調べる計画を立て、観察に行く。	・計画をもとに、意欲をもって活動、観察に取り組んでいる。

27 ～ 32	○自分たちでテーマの色を決め、写真を撮る。色と景観の関連性に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> 色に着目し写真を撮りためる。色を比較し、景観にどんな影響を当てているかを問い、考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 色を切り口にして、臼井地域を探検し、景色が臼井地区のよさを引き出していることに気付いている。
33 ～ 41	○地域の特色である「しろね大凧」「狸の婿入り行列」「臼井の野菜」について詳しく調査する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の祭りや野菜作り、凧について、実行委員会や農家、施設の職員から話を聞く場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人の話を熱心に聞きメモを取っている。
42 ～ 50	○調べたことをまとめ、地域のよさを伝えるカルタを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 臼井のいいねをカルタの読み札と絵札にまとめさせ、自分の集めた情報を整理させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み札や絵札から「臼井のいいね」が伝わるように作成している。
51 ～ 60	○「臼井のものしり博士」として、2年生、保護者、地域の方に成果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> カルタや今までの学習をもとにして、臼井のいいねを紹介する場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 臼井のいいねの良さを広めるための表現方法を考えている。



<留意点>

- ・日頃生活しているだけではわからない地域の良さや景観の保護について、気付くとともに地域へ広める活動を通して、臼井地域に今まで以上に愛着を持てるようにしたい。そのため、地域の「臼井の名人」に協力していただき、子どもの知らない事実と出会わせ、関心を高めていく。
- ・少子高齢化や空き家問題など、マイナスな側面だけにとらわれず、野菜・花きなどの成長により、四季によって風景が変わり見え方が変わるなど、時間軸でもよさが感じられるような働きかけを行っていく。その中で、子ども自身が新しい「いいね」やよさに気づき、臼井地域を大切にしていこうという思いを高められるようにしていきたい。



② 事業実施報告書詳細

学校名 新潟市立臼井小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	教室	<ul style="list-style-type: none"> 「臼井地区には何かあるか」について経験や既習事項から出させる。 		<ul style="list-style-type: none"> はじめは「ただそこにあるもの」と捉えていた。

12	臼井地域 ・教室	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの興味関心をもとに地域探検をし、臼井地区にはいろんなものやいろんな色があることに気付いた。 「探検→気付きを整理する→次の探検場所を決める→探検」の流れを繰り返して行い、よさや臼井地域への興味を深めていた。 いつも生活している学校の中や周りにもいろんなものがあった。「臼井のいいね」なんだと気付いていた。 	  	<ul style="list-style-type: none"> 探検をしてみると、目に映るものをつぶやき始めていた。「臼井は自然がたくさんだから緑が多いね」「野菜を作っているね」「庭にお花がある。きれい」「赤くて目立つものがある。何だろう」「ここで狸の婿入り行列をしていたよ」 「どんぐりの森って素敵」「学校の階段の吹き抜けもいい感じ」と、学校の中や学校から見える風景にもよさを見出していた。
12	教室	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもった場所、もの、地域行事を出し合って、調べる計画を立てた。子どもたちは「野菜の栽培」に興味をもった。 農協の高橋さんをお招きし、「臼井の野菜は何か。なぜおいしいのか」について教えてもらったり、野菜のおいしさを見分けるポイント（色）を教えてもらったりした。 学校田でお世話になっている農家の小林さんから畑を見せて 	  	<ul style="list-style-type: none"> ビニールハウスの中がきゅうりの迷路だね。 きゅうり王子やしろねスイート、えだま〜めいどっていうブランド野菜があるんだ。 「どんな仕事でも楽しむのが大切だ」と小林さんが言っていた。 自分の背より高く育っているね。 きゅうりのとげがなくなるほど大きくなると、種ができる。それを動物たちが食

		<p>もらい、臼井の野菜を実際に見たり食べたりしながら、ひみつを学んでいた。</p>		<p>べてふんをして土にかえって肥料になるんだって。</p>
2	前庭	<ul style="list-style-type: none"> •みどりの会の皆さんと一緒に、「学校を彩ろう」と花を植える活動を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> •花植えを体験してから「臼井のいいね」の写真を撮るときに花を選ぶ子どもが増えた。
6	臼井地域 •教室	<ul style="list-style-type: none"> •臼井地区を彩る景観や様子を写真に撮りロイロを活用し、ためていった。 •ロイロノートを活用し、写真を種類ごとにまとめ、臼井地域の良さについて整理した。 	  	<ul style="list-style-type: none"> •臼井地域は高い建物がないから、空が広い、青くてきれいだった。 •季節によって色が変わるね。春はピンクで夏は緑、秋はオレンジだ。 •花き農家がいっぱいあって、ユリやアザレアなどきれいな花も育てているよ。 •臼井の景色は素敵だな。
6	臼井地域 •しろね大凧と歴史の館 •教室	<ul style="list-style-type: none"> •「狸の婿入り行列」の発起人である栗賀さんをお招きし、どうして始めたか、どんなふうに行事にかかわってほしいかについて、教えてもらった。 •白根の大凧合戦について、「しろね大凧と歴史の館」に行き、館長さんから話を聞き、凧作り体験をした。 	 	<ul style="list-style-type: none"> •大凧合戦は昔からあったんだ。 •凧を上げると気持ちいいね。 •凧が青空に高く上がると、とても楽しいね！

10	学校園 ・体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・狸の婿入り行列の踊りを練習した。 ・狸の婿入りの昔話に出てくる白根の大根を育てた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・上手に踊って、おまつりに参加したい。 ・お嫁さんの足が大根みたいにきれいだったから、ポン太は結婚したんだって。
10	教室	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを整理して地域の良さを伝えるカルタを作った。 ・カルタを使って、臼井のいいねを2年生やお家の人に紹介した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・臼井地域の人って温かいよね。いつも挨拶してくれる。 ・前よりもたくさんの臼井のいいねが分かった。 ・2年生やお家の人にももっと伝えたい。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は総合の学習が初めてなので、まずは生の体験を多く設定した。あえて自分たちの足で地域を回り、実際に目にしたものを大切に、情報を共有しながら、さらに興味関心を深めていった。 ・ゲストティーチャーに来ていただいたり、畑や田んぼ、資料館などに実際に行ったりし、知識や経験を増やしていった。 ・「いいね」で終わるのではなく、色や形、役目、効果など、なぜ「いいね」と思ったのかを意識させた。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臼井小は学区が広いので、バスや自転車で登校している子も多い。そのため、身近な情報や経験を共有するのが難しかった。タブレットで写真など撮り蓄積しながら、共通点を探ったり共感性を高めたりして、もっと知りたい、自分も見てみたいという意識を高めるように進めていく必要があった。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで子どもたちの目には、ただうつるだけだった「こと・もの・人」が、この学習をきっかけに意識してみる、意識して見つめることにつながった。 ・前半は、地域に存在しているものの色や形に目がいくことが多かったが、徐々に、そのおかげで感じることや影響に気付きました。さらに、人の行為やその思いが「いいね」であることに気付く子もいた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 子どもの思いに寄り添いながら進めることが大切だと感じた。その過程で子どもが「自分事」として活動することが実感できた。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- たくさんの地域のよさを気付いてきたので、さらに知りたい、伝えたい思いを高め、地域への愛着を深めていきたい。
- 2年生には自分たちの気付いたよさを伝え、活動を継続していきたい。
- 3年生は次年度4年生になり、学ぶ範囲が臼井地区から新潟市となるので、さらに広い範囲でのよさへの気づきに広げていきたい。